

# 南風便り

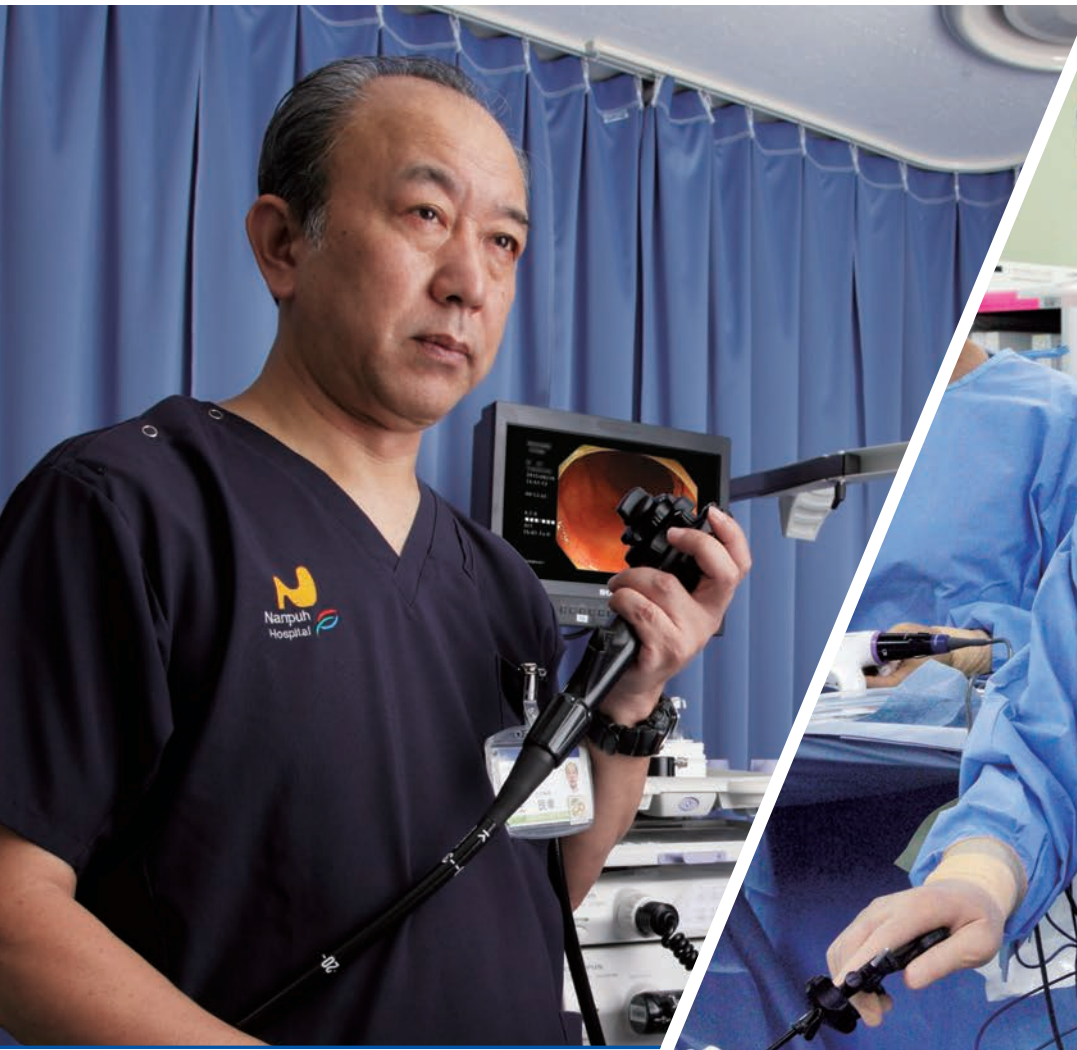


おかげさまで60年

No.41

2015 SUMMER

地域と南風病院を結ぶ



Tatsuyuki Nioh 仁王 辰幸



Masaki Kitazono 北蘭 正樹

## 特集

消化器内科 外科・消化器外科

**南風病院 大腸がん診療の実力**

..... 2~4

シリーズがん 医科歯科連携の取り組み

..... 5

シリーズ 地域で支える 鹿児島市玉里団地 くわはたクリニック

..... 6

ことしの秋、11月に新しく東館がオープンします

..... 7

がん診療連携パス『私の手帳』ご紹介

## CONTENTS

# 特集

## 消化器内科 外科・消化器外科

### 南風病院 大腸がん診療の実力

大腸がんは早期で発見されれば治る可能性の高いがんです。

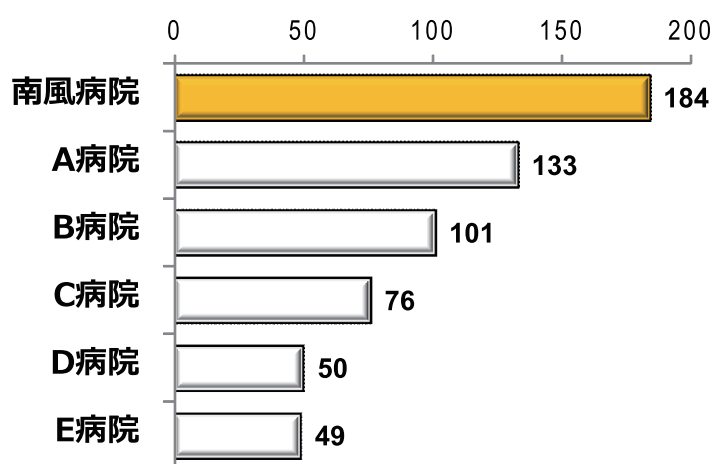
当院では鹿児島県の大腸がん克服に貢献できるよう早期発見・早期治療に全力で取り組んでいます。

近年、大腸がんは日本人のがん死亡数で男女ともに増加傾向にあり、2013年度のがん全体の死者数のうち、男女全体では、第3位、女性の死亡者数では第1位となっています。これらのデータは今後しばらくは大腸がんに対する対策が重要課題であることを示しています。

また今後、超高齢化社会に突入していき、大腸がんはさらに増えることも予測されます。

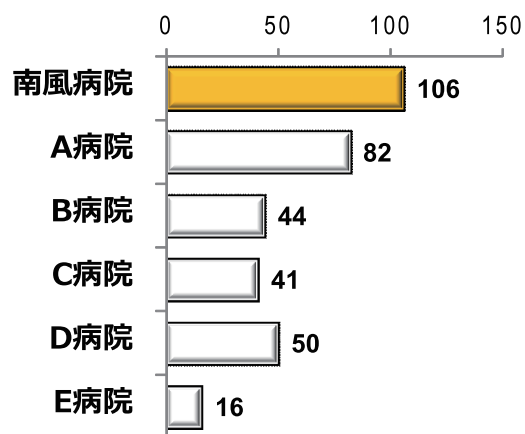
これらの「大腸がん」の背景もふまえ、当院では、大腸がんの早期発見を目指し、大腸内視鏡検査、大腸CT検査に力を入れています。また、大腸がんが発見された場合でも、低侵襲の手術を含め、大腸がんの治療ができる体制となっています。実際に、当院での大腸がん診療数は県内でも上位にあり、特に治療例の多さでは高い実績を残しています。

大腸がん手術患者数（鹿児島医療圏）

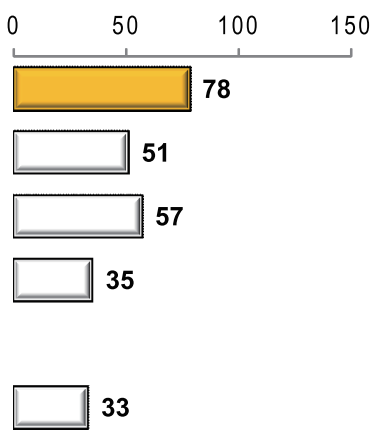


今回は、当院の大腸がん検査・治療の要である消化器内科と外科・消化器外科の取り組みをご紹介させていただきます。

結腸がん手術患者数



直腸がん手術患者数



情報元：平成26年度第6回診療報酬調査専門組織・DPC評価分科会のデータを南風病院・TQM室にて編集

結腸がん:060035 大腸（上行結腸からS状結腸）の悪性腫瘍

直腸がん:060040 直腸肛門（直腸・S状結腸から肛門）の悪性腫瘍

# 消化器内科

## 充実したスタッフで、

## 状況に応じた検査を

当科では、内視鏡に熟達した専門医・指導医が多数在籍しており、月曜日から金曜日まで、それぞれの患者さまに適した質の高い検査・治療を提供できる体制となっています。

また、大腸内視鏡検査数では、年間約3000例以上おこなっており、十分な実績で大腸疾患の早期発見・早期治療をめざし取り組んでいます。

当院での大腸検査では大腸内視鏡検査を基本とし、癒着もしくは狭窄の為に内視鏡挿入困難な方の場合でも大腸CT検査や注腸透視を用いており、患者さまの状態にあった検査を選択し行



消化器病センター所長  
仁王 辰幸

います。

内視鏡検査時に切除の適応と思われるポリープを認めた場合は、その場で内視鏡的粘膜切除術(以下 E M R)を行い、切除適応か否か判断が難しい病変に対しては、超音波内視鏡(以下 E U S)や拡大観察、ピオクタニン染色などを用いて判断します。E M Rが適用外と判断された場合には内視鏡終了後、大腸CT(造影)検査で、正確な部位、転移診断、血管3D像作成などを行い、その後治療方針の迅速な判断を行うようにしています。

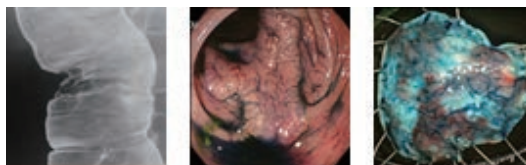
そのほか、患者さまに安心して検査を受けてもらう為、全症例に対して空気と比べ約130倍吸収されやすい炭酸ガスを使用しており、患者さまの検査・治療後の腹部膨満感や痛みの改善をはかっています。昨年(2013年)の9月からは、大腸内視鏡検査に、抵抗がある女性のために、『女性医師による女性のための大

腸内視鏡検査』の取り組みも始めております。

## 難易度の高い治療

最近の治療としては、以前外科的に腹腔鏡下で行っていた大型の粘膜内病変に対して、内視鏡的粘膜下層剥離術(以下 E S D)を行っています。

### 繊維化を伴う大腸腫瘍



### 内視鏡的粘膜下層剥離術 (ESD) 症例数

	2010	2011	2012	2013	2014
大腸	11	17	16	26	20

E S Dは2センチメートル以上で深達度が粘膜下浅層にとどまる病変を対象としています。

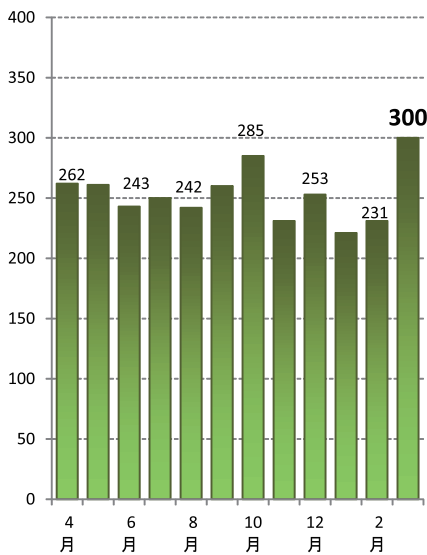
当院では、大腸に対してのE S Dを、2012年の保険適応となる前より導入しており、これまでに100例以上行っています。繊維化が強い難易度の高い病変などにおいても取り組んでおり、良好な治療成績をおさめています。

## 絆の深さ

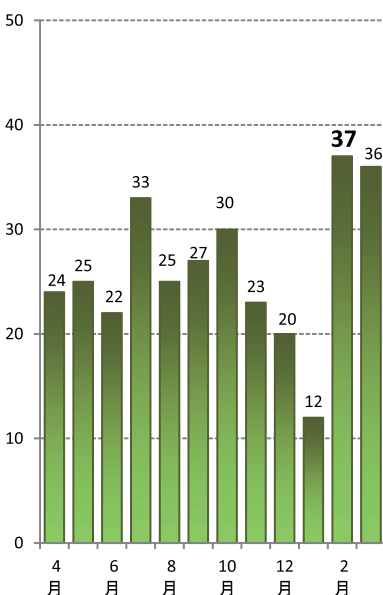
当院の強みのひとつに各診療間の『絆の深さ』があります。内視鏡から大腸CT検査(放射線科)への移行、治療中の偶発的なトラブルの時ににおける外科との連携などスムーズに対応できる環境が整っています。

地域の先生方にも安心してご紹介いただきたいと思います。

2014年度  
大腸内視鏡検査数 3039件



2014年度  
大腸CT検査数 314件



# 外科・ 消化器外科

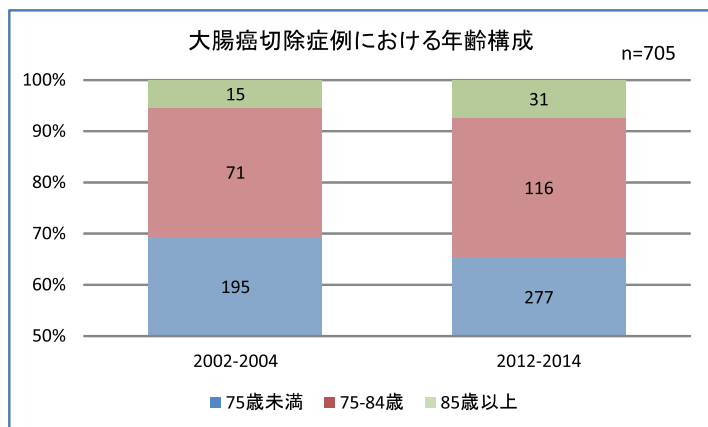


部長 北園正樹

## 直腸癌における

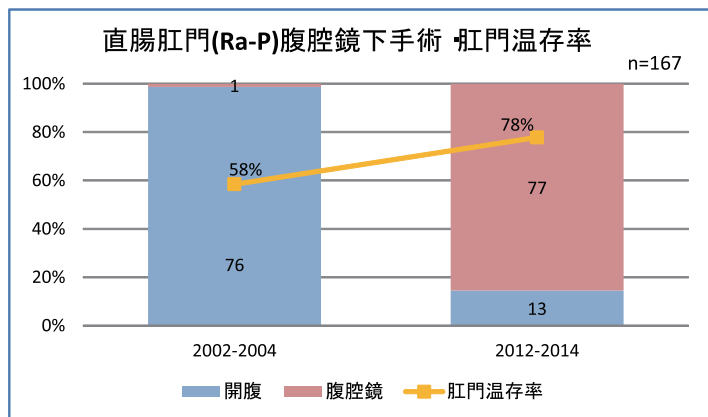
### 肛門温存術

当院では、直腸癌手術のそのほとんどが腹腔鏡でなされるようになりました。当初予想されていた、狭い空間では操作しにくいのではないか、触覚に乏しく出血を生じ易いのではないかと、という憶測はむしろ逆であり、腹腔鏡のように、(実際は狭い)空間を広く使うことにより手術がスムーズとなることが経験されるようになってきました。狭い空間においては腹腔鏡のように、先端が深い部位まで明瞭に観察できることや角度を変えて見たい方向から観察できることは、以前のように首をねじ曲げて局部をみようとしていたころと比較にならないほどメリットがあり



ます。また、触覚については実際には指で操作することほとんど変わらない感覚がありますし、その組織の硬さや脆さ、拍動なども十分に伝わるということがわかってきました。仮に出血があったとしても、スタッフが全員注視している中で起こったことですので対応について協議でき、適切な処置を施せる確率が高くなることも出血量減少に結びついているようです。

また、肛門温存の確率も高くなっています。肛門解剖の理解により、以前では直腸切断を余儀なくされていたようなケースでも肛門ギリギリで根治切除できるようになりました。放射線照



射を利用し術前に腫瘍を縮小することによりマージンを稼ぎ、肛門吻合できる割合も高くなっています。さらに最近の抗がん剤の進化は、根治性・安全な吻合のレベルアップを可能にしました。当院でもRb領域にかかる進行癌については、術前化学放射線治療後に切除というオプションがあります。それら治療例における術後再発率はこの5年間で0%と良好な結果となっています。

## 高齢化と大腸がん

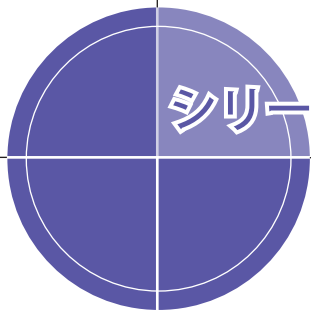
日本の平均寿命は世界最高水準(2)

012年・男性79.94歳、女性86.41歳)であることはよく知られています。このことは近い将来、日本が未曾有の高齢化社会を迎えることを想像させます。それに伴い、今後、高齢者の大腸癌症例も確実に増えるでしょう。

高齢者の手術では、術前の合併症は多くなりませんが、そのために手術を断念するということはほとんどなく、術後合併症についても実際には問題とはならないこともわかってきました。やはり肺炎などの呼吸器疾患については警戒しなければなりません。縫合不全やイレウスなどの腹部合併症は問題となることは少ないようです。

当院においては高齢者ということで癌の手術を控えたりすることはありません。大腸癌の存在はQOLに直結しておりますので可及的に安全に全例切除を心懸けております。またQOL重視ということでは、やみくもに大腸吻合をあきらめストーマ患者が増えることのないようにしております。2006年に公表された厚生省の指標によると歩行速度を1992年と2002年と比較したところ、この10年間で10歳程度、若返っているそうです。高齢者の体力は若返りの方向にあるのです。当院では、大腸癌手術もその傾向に合わせてQOLを重視し、根治を目指すべきと考えています。

地域の先生方も高齢の方でも安心してご相談ください。



末永 豊邦  
副院長／外科主任部長  
がん診療運営委員会委員長

### 南風病院における 医科歯科連携の取り組み

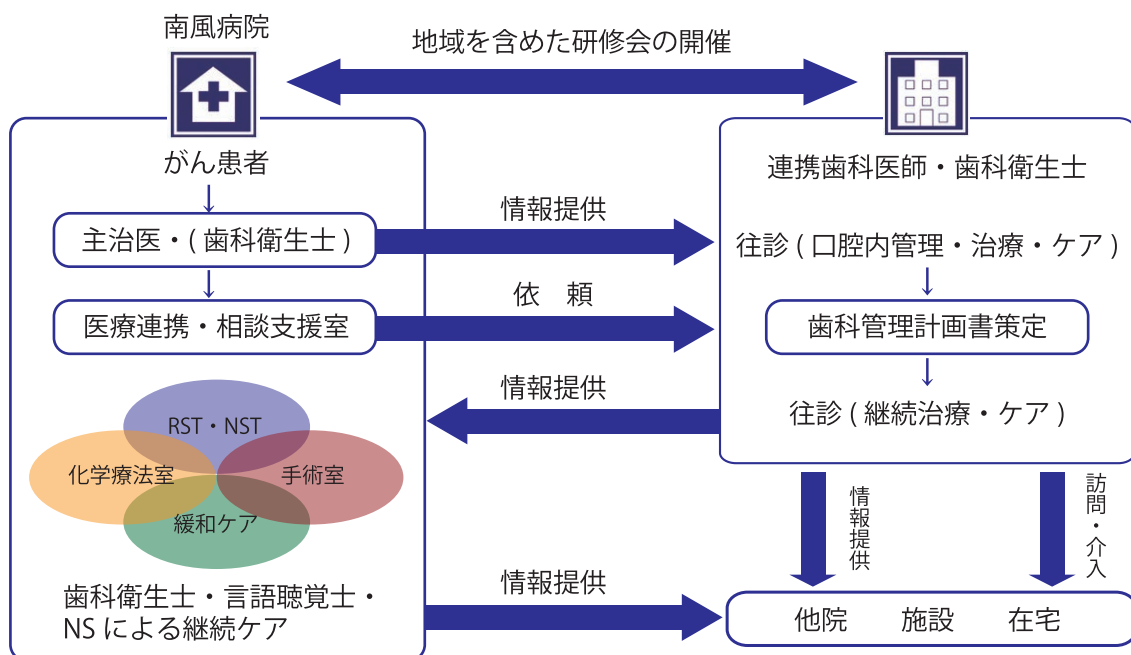
当院では、がん治療時におこる口腔内のトラブル予防、局所合併症や肺炎の発症頻度低下を目的に、患者に治療開始前に歯科と連携し、口腔内の評価・口腔内清掃・ブラッシング指導による口腔機能管理に関する連携を開始しました。

近年、急激な社会の高齢化と疾病構造の変化に伴い、生活習慣病の予防や社会生活を営むために必要な機能の維持および向上、すなわち生活の質を向上させることが求められています。このような中、2012年4月の診療報酬改定でチーム医療や医師等との連携推進に重点がおかれ、がん患者等の周術期の歯科医師が関与した包括的な口腔機能管理等を評価し、併せて周術期に行う歯科衛生士の専門的口腔衛生処置についても評価されるようになりました。

当院は、鹿児島県がん診療指定病院で2014年度がん疾患患者数延べ1,855件、手術（全身麻酔）症例1,570件、化学療法1,010件（入院外来含む）の治療をしています。また、糖尿病や透析患者が多いという特徴があります。鹿児島県歯科医師会と協働し、歯科の標榜がない病院として、がん治療における合併症を予防・軽減し口腔のQOLの向上を図るとともに、がん患者が安心して歯科治療を受けることができる医科歯科地域医療連携を推進していきます。

現在、消化器がん疾患の周術期（全身麻酔手術）患者をがん治療開始前に、歯科受診を勧め口腔機能管理に関する連携を図っています。院外の連携歯科医と定期的な意見交換会や勉強会などを企画開催していきます。院内においては、NST（栄養サポートチーム）やRST（呼吸ケアチーム）、ICT（感染制御チーム）、緩和ケアチーム、周術期関連部署など医療チームと連携した活動を展開しています。さらに、7月から歯科衛生士を採用し、歯科医師の包括的指示の基本ケアの継続や、より質の高い専門的口腔衛生処置の実施およびスクリーニング方法を検討し質の向上に努めています。

### 南風病院口腔管理体制



南風病院では、地域の先生方との連携による医療の提供「連携医療」を推進しています。今回は、鹿児島市玉里団地 くわはたクリニック 桑波田隆志先生にお話しをお聞きしました。

## 地域のかかりつけ医として医療と介護

### 総合的なサポートに取り組みたい

#### Q1 クリニックについて教えてください。

昭和50年に私の父（現：桑波田友三郎理事長）が桑波田内科を開院し、平成22年に私が診療に加わり、新たに「くわはたクリニック」として診療を行っております。診療内容は、地域のかかりつけ医として、風邪から、高血圧、糖尿病、脂質異常症などの生活習慣病など幅広く対応しています。また、循環器疾患においては、心エコー、負荷心電図や24時間心電図、頸動脈エコーでの動脈の内膜肥厚の評価や脈波速度での血管年齢、動脈硬化度測定など専門医療の提供にも努めています。その他の診療として、私自身アレルギー性鼻炎でもあることから、スギ花粉症の舌下免疫療法も取り組んでいます。



くわはたクリニック  
院長 桑波田 隆志先生

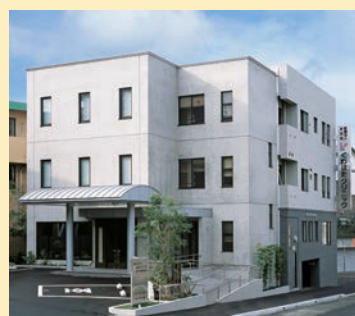
日本内科学会認定内科医  
日本循環器学会専門医  
日本抗加齢学会専門医

#### Q2 南風病院との医療連携はどのようなものでしょうか？

私は、現職前の8年半 南風病院循環器内科で勤務させていただきました。そのこともあり、顔見知りの先生も多く、急性期医療が必要な際には各科の先生方にお世話になっています。連携体制の部分では、南風病院の医療連携システムを活用し、当院から直接、画像診断検査のオーダーも行っています。検査後は当院にて、画像や検査報告書を見ながら詳しく結果説明を行うことができ、患者さんにとっても好評です。

#### Q3 今後の展望、抱負をお願いします。

当院周辺の住民の方々も高齢化が進んできています。当法人では、クリニックと併せて「グループホーム玉里・良友」「デイサービスきぼうの里」も運営しています。これから更に進む高齢化社会にも対応できるよう医療だけでなく介護の面においても、この地のかかりつけ医として総合的なサポートを提供できるように取り組んでいきたいと思っています。



#### くわはたクリニック

〒892-0811 診療科：内科・循環器内科  
鹿児島市玉里団地2丁目5-1  
TEL 099-220-9502 FAX 099-220-9503

理事長：桑波田友三郎  
院長：桑波田 隆志

## ことしの秋、11月に新しく東館がオープンします

昨年、開院 60 周年を迎え記念事業の一環として病院東側に新たな建物（東館）を建築することになりました。現在は、病院敷地も狭く、建て増しの建物で患者さまからも「わかりづらい」とのお言葉も多数いただいております。

当院も今後、約 10 年計画でグランドデザイン（新たな病院作り）を進めていきたいと考えます。当初、移転等も意見としてあがりましたが、『病院創設以来、上町というこの地域と共に歩んできたというご縁を大切にしたい。そして、この創業の地で、さらに発展し、多様化する医療ニーズに応えていきたい』と、貞方理事長の強い思いで、グランドデザインの皮切りとして東館建築となりました。

建物は地上 5 階建、機能としては、薬剤部（調剤室、DI 室、無菌調剤室）、リハビリテーション室（PT、ST、OT 各々増員、面積も約 1.6 倍）、化学療法室（最大 20 名まで治療可）、面積の広い手術室、地域の方々も利用可能な講義・研修室（多喜ホール）、医師当直室ならびに職員が災害時など臨時的に仮眠できる部屋などを予定しています。

建築の進捗としては、躯体が 5 階まで建て上がり、今後は部屋内の設備工事や外壁工事・外構工事などが予定されています。

完成は、平成 27 年 11 月となっておりますので、一度足を運んでいただければ幸いです。

これからも地域医療に貢献し、皆さまから信頼される病院をめざして努力していききたいと思います。

院長 福永 秀敏



## がん診療連携パス「私の手帳」のご紹介

鹿児島県は平成 25 年 11 月に「私の手帳」センターを設立し、鹿児島県がん医療地域連携推進事業の取り組みとして“がん診療連携パス「私の手帳」”運用を開始しました。「私の手帳」センターによる一斉届出や説明会により、県内すべてのがん診療連携拠点病院・指定病院との連携手続きを行った連携医療機関は約 240 施設となっています。

「私の手帳」は、地域で生活する患者さまご自身に持ち歩いていただくもので、連携医療機関とがん診療拠点病院・指定病院の 2 人の主治医をもち、複数の主治医が情報を共有し、診療計画（がん診療連携パス）に基づき、共同して診療を行うためのツールになります。また、連携医療機関から連携する拠点病院・指定病院への診療情報を提供した場合、がん治療連携指導料 300 点（月 1 回）を算定することができます。初発のがんであり、告知がされていることなど算定の条件がいくつかありますが、「私の手帳」を使用することで、患者さま自身が病気や治療計画を理解することにもつながり、安心して治療を受けることができます。当院でも「私の手帳」を使用した連携をすすめていきたいと考えており、地域の先生方のご協力をよろしくお願い致します。



がん化学療法看護認定看護師 市野 ゆう子

# 外来担当表

★…完全予約制 H27.07.01

受付 AM8～11/PM1～4	月	火	水	木	金	土	
午前	内科	政 昌子 中崎 満浩 ※糖尿病・内分泌(下垂体・甲状腺・副腎)	政 昌子 ★伊集院 綾子	中崎 満浩	政 昌子	政 昌子 ★新中須 敦	※緊急時はお問い合わせください
	循環器内科	清永 和明 濱田 成郷	清永 和明 濱田 成郷	清永 和明 今村 正和	清永 和明 樋渡 沙和子	今村 正和 樋渡 沙和子	
	呼吸器内科	★山口 昭彦	★山口 昭彦	★山口 昭彦	★佃屋 剛	★山口 昭彦	
	腎臓内科	内田 義男	福元 まゆみ	尾田 佑美	内田 義男	曾我部 篤史	
	肝臓内科	迫 勝巳	小森園 康二	処置日	迫 勝巳	小森園 康二	
	外科 消化器外科	末永 豊邦 上村 真弓	北蘭 正樹 三田 多恵	手術日	佐藤 力弥 上村 豪	豊崎 良一	
	脳神経外科	楠元 和博	★頭痛外来 もの忘れ外来 横山 俊一	★頭痛外来 もの忘れ外来 横山 俊一	楠元 和博	★頭痛外来 もの忘れ外来 横山 俊一	
	神経内科	ふるえ外来 梅原 藤雄	しびれ外来 梅原 藤雄 池上 眞由美	梅原 藤雄	池上 眞由美	しびれ外来 梅原 藤雄	
	整形外科	★川内 義久 吉野 伸司	★廣田 仁志 富村 奈津子	吉野 伸司 中條 正英	久保田 恭 川畑 英之	★川内 義久 ★廣田 仁志	
	放射線科 (PET・CT・MRI・RI)	★ 加治屋 より子	★ 加治屋 より子	★ 加治屋 より子	★ 加治屋 より子	★ 加治屋 より子	
消化器内科	新原 亨 馬場 / 飯福 楠元 大岳	田代 光太郎 松田 / 島岡 馬場 由紀子	仁王 辰幸 楠元 大岳 豊田 真理	島岡 俊治 岩木 宏介 飯福 沙織	松田 彰郎 馬場 / 飯福 田代 光太郎		
午後	呼吸器内科			禁煙外来 ★山口 昭彦	梅原 恵		
	循環器内科 ( <sup>ハ</sup> -スメーカー)			清永 和明 (第3木曜)			
	神経内科		池上 眞由美		池上 眞由美		
	肝臓内科			柴藤 俊彦			
	ペインクリニック 内科	★益山 隆志 ★八木 由紀子		(初診日) ★益山 隆志 ★八木 由紀子	★益山 隆志	★益山 隆志 ★八木 由紀子	
整形外科	小児整形 ★吉野 伸司	★廣田 仁志		創傷外来 ★富村 奈津子	★川内 義久 ★廣田 仁志		

※急ぎの診察が必要な場合は、医療連携室までお電話ください。

- 外来診療予約窓口 直通TEL: 099-805-2259
- 画像診断センター 直通TEL: 0120-332-411 直通FAX: 0120-332-967
- 医療連携室 直通TEL: 099-805-2732 直通FAX: 0120-707-142

理念 人にやさしく、あたたかく

- 基本方針
- 1 医療を通して地域社会に貢献する
  - 2 患者さま本位の診療を行う
  - 3 最新の医療の提供に努める
  - 4 活力に満ち、働きがいのある職場を目指す
  - 5 病院として健全な発展を続ける



公益社団法人鹿児島共済会 南風病院  
〒892-8512 鹿児島市長田町14番3号  
TEL 099-226-9111  
FAX 099-223-1573  
URL <http://www.nanpuh.or.jp/>